

体験を通して学ぶ！

-車椅子体験・高齢者疑似体験から考える思いやりの心-

10月14日(水)。5時間目に、3年生が館林市社会福祉協議会の皆様を講師にお迎えし、車椅子体験と高齢者疑似体験を行いました。

車椅子体験では、実際に車椅子に乗ったり、介助したりしながら、安全な操作の仕方や相手への声のかけ方などを学びました。また、高齢者疑似体験では、専用の装具を身に付け、普段とは異なる体の動かしにくさなどを体験しました。

普段は何気なく行っている動作も、立場や体の状態が変わると難しく感じることがあります。子どもたちにとって、実際に体験することで、相手の立場に立って考えることや、思いやりをもって行動することの大切さに気付く貴重な学習となりました。

大切なのは、今日の体験で感じたことを、これからの生活に生かしていくことですよね！困っている人に気付き、自分にできることを考え、行動できる人になってほしいと思います。

ご指導いただいた館林市社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。